

ドクターカー車両

平成24年度北網地域医療再生事業（周産期救急ドクターカー配備事業）

北網地域医療再生計画に基づき、医師及び看護師が同乗し、救急患者に対して迅速に治療をしながら搬送を行う救急車両（ドクターカー）を北見赤十字病院に配備することで、北網地域の周産期医療及び救急医療の充実を図る目的として平成24年度北網地域医療再生事業費補助金の交付を受け整備を行いました。

ドクターカーは、医師と助産師または看護師を乗せて救急現場へ向かう専用の救急車で、今回の車両には、出産を控えた妊婦や乳幼児の搬送に対応するため、胎児エコーや保育器などの医療機器が搭載されています。道内でドクターカーが導入されるのは札幌市と旭川市に続くもので、産婦人科や小児科の医師が少ないオホーツク海側の医療体制を補うと期待されています。

トヨタ救急車 ハイメディック TRH226S-QFPDK-H



救急業務の高度化に対応し、さらにスムーズな救急救命活動のためにスペース効率を追求し、緊急出動、緊急搬送に応える機動性を兼ね備えた救急車です。